opusdei.org

オプス・デイとは

オプス・デイとオプス・デイの協力者の役割についての簡単な説明。

2016/03/29

オプス・デイとは、一九二八年十月 二日、聖ホセマリア・エスクリバー が創立したカトリック教会の組織で す。正式な名称は、「聖十字架とオ プス・デイ属人区」ですが、略して 「オプス・デイ」(ラテン語で『神 のわざ』)と呼ばれています。 日常生活のあらゆる状況の中で、仕事を聖化し、信仰と首尾一貫して生きることを人々に伝えることで、教会の福音宣教の使命に貢献することを目的としています。

オプス・デイが伝えたいことは、すべての高貴で立派な仕事は神の仕事に変えることができる、ということです。聖ホセマリアにとって仕事を聖化するとは、イエス・キリストとでするとは、イエス・キリストには、神に従って働くことです。それには、神に栄光を帰し、人々の役に立は、神に栄光を帰し、人々の役に立てよう自らの仕事を最後までやり遂げ、世界の聖化に貢献することです。

オプス・デイは、そのメンバーと、 希望するすべての人々に、霊的形成 と司牧的配慮を提供します。それ は、各々が教会と社会において占め る場で神を知り神を愛し、信仰の証 人となり、社会が抱える様々な問題 をキリスト教の精神に従って解決するのをサポートするためです。

オプス・デイは属人区で、教区のような教会の他の区割り組織と同じく、属人区長(現在はフェルナンド・オカリス師)と司祭団、そして男女の信徒から成っています。また、大勢の人々がオプス・デイの使徒的活動に参加していますが、その中に多数の協力者がいます。

オプス・デイの協力者とは、各々に可能な範囲で、祈りや寄付や仕事を通して、オプス・デイが促進する諸活動を援助する人々のことです。 「証言」というセクションで紹介する証言は、協力者がどのようにして協力しているかを示す例です。 pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/opusdeitowa/ (2025/10/29)